

## 周辺での活動との連携

八幡地区周辺では、この自然再生事業のほかにも、カキツバタの里づくり、千町原の草刈り、雲月山の山焼きなど、自然を守るための様々な活動が地元の方々へ、多様な主体によって行われています。これらの活動に学び、様々な活動主体と連携しながら、新たな活動の提案や保全活動の実施など、地域全体の自然を豊かにする方法を模索します。



活動主体	カキツバタの里づくり実行委員会	八幡地域住民 西中国山地自然史研究会	雲月山活性化委員会
活動目的	カキツバタが群生していた風景を取り戻す	千町原にかつての草原を取り戻す	雲月山の草地生態系の維持
活動内容	ボランティアと協働した草取りなどの作業 カキツバタ祭り(6月)など、イベントの開催 カキツバタのオーナー制度	ボランティアと協働した草刈りなどの作業(11月) (刈り取った草は堆肥にして有機農業に利用)	雲月山の山焼き(4月) (地域住民、地元消防団、ボランティアの協働による防火帯の設置、火入れ監視作業)



## 合意形成の場づくりとタイムリーな情報の発信と共有化

霧ヶ谷湿原は、八幡地区の人々の生活に大きな関わりのある太田川の源流のひとつである柴木川<sup>しばき</sup>の最上流部に位置します。そのため、地元の方々との意見交換や情報発信を積極的に行っていきます。



八幡湿原自然再生協議会



ホームページ



広島県からのお知らせ